令和７年度　学校経営構想

　　　　まんのう町立四条小学校

学校教育目標

しなやかな感性をもち、人とつながりながら学び、チャレンジする子どもの育成

**－****感じ、考え、行動する（３Ｋ）－**

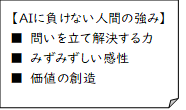
１　スクール・ミッション　－四条小学校は何をするところかー　「翼と根」

　　○　大人「学校は、子どもを幸せにするところ（満たされてこその自立）」

○　子ども「学校は、みんなと学ぶところ」

学ぶことは面白い　つながると温かい　心を磨くことには価値がある

２　スクール・ポリシー　ー何を目指し、そのためにどうするのか－

⑴　めざす子ども像（資質・能力）

○　「しなやかな感性」とは多様性を認めるおおらかさ　【人間性】

○　「人とつながりながら学び」とは人との関わりの中で学ぶ力

【協働】【創造】

○　「チャレンジする」とは夢や志に向かってくじけずがんばる力　【自律】

⑵　本年度の重点１「やるべき時までにやるべきことをやるべき人がやるべき水準で」

　　○　校長…愛校心で負けない全ての責任者　決断者　部下の未来とプライドを守る通訳者

（学校教育法37条　校長は、校務を司り、所属職員を監督する。）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　管理　「毎日、教室に入ります。丸付けもします」

○　教頭…「教員の頭」職員室∽教室子どもを支える先生方を支える　外との境目をきれいに

（同37条　教頭は、校長を助け校務を整理し及び必要に応じ児童の教育を司る）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　経営方針の具現化

○　教員…子どもの心に火を点ける人　**価値付け**をする人　大人代表で子どもの前に立つ人

1. 「言う」は１／６　して見せて言って聞かせてやらせて褒めるのがプロ
2. 「今の自分」と「なりたい自分」を自覚させ、その間の道を提案

話すは「離す」

1. 授業で子どもを育てる　３つの「わ」のある授業　わくわく　わらい　わかる

※　優先順位は「かかし」

1. 身体　　②　家族　　③　仕事

　　　　　　　　　　（教育基本法第９条　教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。）

○　保護者…子どもの存在を**認める人**　未来に責任をもつ人　お互い様の心

　　　　　　　　　　　　うまくいった時の「よかったね」より、うまくいかなかった時の「大丈夫」が大事

（教育基本法　第10条　子の教育について第一義的責任を有するもの）

⑶　本年度の重点２【継承】

　①　学ぶことのおもしろさを実感する授業への改善

○　教材や学習方法の見極め　　○　反応の教材化と組織化　○　みんなで学ぶ指導技術

　➁　よりよい学校づくりを志向し、子どもの心をエンパワーする自主・自律的活動の推進

○　**四条っ子リーダープロジェクト**

○　委員会活動のさらなる活性化

　③　見通し・振り返り活動を「体験の言語化」の視点から再考する

○　自主・自律的活動を点から線、面へと広げる文化的行事（四条っ子ﾌｪｽﾀ・なかよし集会）

○　社会や自然に心を開かせる教育課程の吟味

○　過程を大切にする体育的行事

これらの教育活動を通じて、活動の意味付けと価値付け、自他に「思いを重ねる」助言、振り返り（体験は言葉にして初めて活用可能な経験となる）を共通実践する。

⑷　本年度の重点３【改善】

①　共感的に受け止め

○　傾聴　内容ではなく、感情を聞く

○　それでも聞く。「あなたは、最後まで話を聞いてもらえるだけの価値のある人間なのです」

○　条件付け　聞くけど、言いなりにならない。

ルソー著エミール「子どもを不幸にするいちばん確実な方法はなにか。それはいつで　もなんでも手に入れられるようにしてやることだ。」

　➁ チームの力で

○　抱え込まない。教育の力には限界がある。福祉、心理、司法、医療、行政プロの手を借りる

○　我々もチームになろう。①理念の共通理解、②情報の共有、③取組の協働

　　　理念とは「損得＜善悪＜美醜」　情報は教頭先生に集める　協働のためにはアンテナ高く

③　毅然と粘り強く

○　大人代表として子どもの前に立つ意味は価値付け。「損得＜善悪＜美醜」

　　　　「得してよかったね」＜「それは善いことをしましたね」＜「その生き方、かっこいいね」

良いときにこそ価値付け「どうしてそんなことができるの？」とあえて問う。

○　子どもを全人類（未来人）の代表と見立てて接する

○　大人の「都合のいい子」を育てるのではない。本当の意味で「いい子」を育てる。

言うことをきくのが当たり前ではない。「これだけしてやってるのに…」と思い出したら、距

離を置いた方がいい。

　　　　○　アンガーマネジメントのスキルを教える。

　　　　　　・　時を変える　　怒りの感情は６秒まで。

　　　　　　・　場を変える　　その場から離れるのは有効。

　　　　　　・　考え方を変える　変えられるのは自分だけ。としたら、自分の何を変えますか？

校長のは・な・し

※　集会で、１年間言い続ける予定です

　　約束してほしいことがあります。

は…はりきってチャレンジする

　「努力は報われると思う？残念だけど報われない努力もある。それでも努力しなさい。少なく

とも、そんな自分を好きになれる。あと若いときの努力ほど報われやすいんだよ」

　　　　　　※　友達をつくるコツ　仲良くなりたい人の見ているものを一緒に見て共感する。

※　悪い知らせを伝える人は嫌われる

　な…なりたい自分をもつ

　　　　「なりたい自分をもっている人は強い。夢のためなら、頑張れるから。今の自分と比べて足りないものが見えるから。成長の瞬間に立ち合うことが教師冥利に尽きるのです」

し…してはいけないことは絶対にしない

「失敗はある。誰にでもある。大事なのはその後。どれだけ正直に誠実に二度としないと強く反省したか。いいことを積み重ねれば、いい人になる。悪いことを積み重ねれば、悪い人になる。そう思わない？

※　先生が怒るのは、次の３つだけ。３つの宝を傷つけたとき。

自分、友達、学級（学校）を傷つけたとき。」